

水辺のごみ削減学習プログラムの構築と実践

活動地域  日本全域

LOVE BLUE助成

2年目

実践

プログラムの充実 **4**個

清掃活動実施 **183**人

今年度計画の達成度 **95**%

目標達成度 **80**%



川岸に溜まるごみを回収

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

台風の影響を受け、日程と開催地まで変更となったところがあったこと。前日まで雨天延期とするかの判断が迫られ、天気の影響、安全配慮などに気を配ったこと。

■ 工夫した点

参加者に押し付けではなく、ごみ問題を解決するには自ら行動していかなくてはならないことを気づいてもらえるようにしたこと。

課題

海・川・湖沼など多くの水辺でごみが問題となっている。海ごみを減らすためにも、川を通じて流出する町のごみを減らすことが重要であるが、その認識は低い。

目標

環境学習要素のあるごみ拾いプログラムを構築し、実践することで、水辺のごみ削減への関心を高める。さらに生活の中から排出されるごみの削減を図る。

活動内容と成果

地域で活動する団体に協力をいただき、四つの形態で環境学習要素のあるごみ拾いを企画した。

- ①地域子ども育成・子ども会では、まち探検と併せた活動
 - ②総合学習の小学生は事後学習をセット
 - ③一般募集イベントでは、ビンゴを取り入れて楽しむ活動
 - ④地域住民&地域活動団体イベントでは、意見交換会を追加など、それぞれで特徴あるパターンのごみ拾いを実施した。
- その実施内容をまとめ「水辺のごみ削減学習プログラム事例紹介」としてポイントとともにホームページで紹介した。



川ごみビンゴで楽しく盛り上がる



ごみの種類ごとの数を調査

全助成期間の活動を振り返って

2年間の助成期間の中で、計6回のごみ拾いプログラムの実践活動を行った。参加者一人ひとりがごみ削減への関心を高め、削減のための行動変容、周囲の人へと広めていくことを目指してきた。各地域の各団体の参加者に合わせたごみ拾いの進め方は色々な手法があり、それぞれの工夫で学びのあるごみ拾いができることをあらためて実感した。これらプログラムの特徴の一部が他の活動でも活用されることを望む。

〒132-0033
東京都江戸川区東小松113-35-13-204
電話：080-8167-8577
E-mail：kawa53@kawagomi.jp
HP：http://kawagomi.jp/



今後の展望

学習プログラムとしてのごみ拾い活動は、ニーズに合わせて実施されるのが望ましいため、あらためてニーズ調査から取り組みたいと考える。また、プログラム実施だけでは伝えることができる人数に限られる。より多くの人にも啓発できるようなツールを制作し、その貸し出しなどを行い、水辺のごみ削減の普及啓発をさらに広めたい。